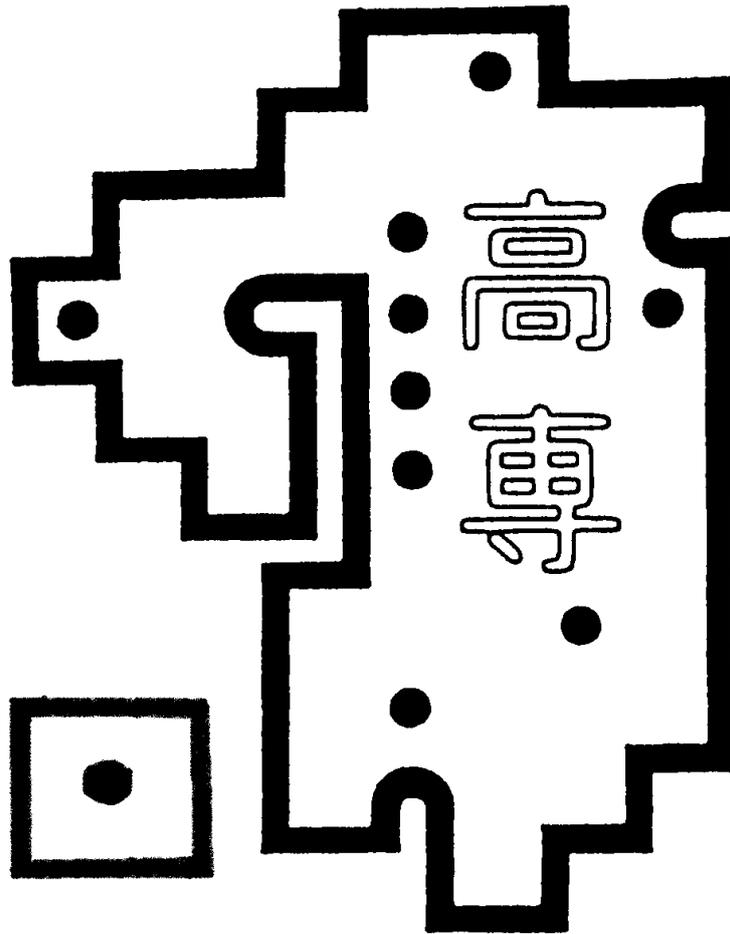


第59回（令和4年度）

九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会

柔道競技



令和4年 7月2日(土)・3日(日)

主催 (主管校) 熊本高等専門学校 (八代キャンパス)
(担当校) 都城工業高等専門学校
(担当校) 鹿児島工業高等専門学校
九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟

総 合 本 部

熊本高等専門学校八代キャンパス

電 話 0 9 6 5 - 5 3 - 1 2 3 3

F A X 0 9 6 5 - 5 3 - 1 2 3 9

U R L <https://kumamoto-nct.ac.jp>

試合結果のお問合せ等にご利用ください。

表紙の図案について

図案は、九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会旗のマークとして、有明工業高等専門学校建築学科名誉教授松島寛治先生によりデザインされたものであり、九州沖縄地区9高専（10キャンパス）の位置を表徴している。

この競技要項に学生の個人情報を掲載するにあたっては、個人情報保護法に基づき、本人の了解を得ております。

目 次

大会役員	1
連絡協議会	2
大会日程表	3
第59回（令和4年度）九州沖縄地区高等専門学校体育大会要項	4
参加校（住所・電話番号）	7
大会参加者数（会場別）	8
競技種目別実施要項	9
新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン	12
組合せ及び予定時刻	14
競技役員・出場選手名	17
（案内）	
監督会議・開会式日時及び会場、緊急病院	20
九州沖縄地区体育大会優勝校一覧	21

大 会 役 員

会 長

熊 本 高 等 専 門 学 校 長 高 松 洋

副 会 長

都 城 工 業 高 等 専 門 学 校 長 和 田 清

鹿 児 島 工 業 高 等 専 門 学 校 長 氷 室 昭 三

顧 問

久 留 米 工 業 高 等 専 門 学 校 長 松 村 晶

有 明 工 業 高 等 専 門 学 校 長 八 木 雅 夫

北 九 州 工 業 高 等 専 門 学 校 長 鶴 見 智

佐 世 保 工 業 高 等 専 門 学 校 長 中 島 寛

大 分 工 業 高 等 専 門 学 校 長 山 口 利 幸

沖 縄 工 業 高 等 専 門 学 校 長 佐 藤 貴 哉

連 絡 協 議 会

	委 員 長				
熊本高等専門学校 (八代キャンパス)	学生主事	村 山	浩 一		
	副 委 員 長				
熊本高等専門学校 (八代キャンパス)	体育教員	四 宮	一 郎		
	事務部長	佐 藤	敏 明		
	学務課長	大 山	俊 博		
	委 員				
久留米工業高等専門学校	学生主事	田 中	大 二		
	体育教員	龍 頭	信 博		
	学生課長	木 山	博 志		
有明工業高等専門学校	学生主事	坪 根	弘 明		
	体育教員	野 口	欣 照		
	学生課長	江 崎	浩		
北九州工業高等専門学校	学生主事	安 部	力 也		
	体育教員	松 崎	拓 圭		
	学生課長	長 濱	圭 一		
佐世保工業高等専門学校	学生主事	堂 平	良 一		
	体育教員	吉 塚	一 典		
	学生課長	宮 良	幸 代		
熊本高等専門学校 (熊本キャンパス)	学生主事	縄 田	俊 則		
	体育教員	岩 田	大 助		
	学生課長	河 津	秀 利		
大分工業高等専門学校	学生主事	靄 庭	浩 二		
	体育教員	大 庭	恵 一		
	学生課長	高 嶋	重 俊		
都城工業高等専門学校	学生主事	永 松	幸 一		
	体育教員	武 田	誠 司		
	学生課長	野 口	修		
鹿児島工業高等専門学校	学生主事	北 北	裕 一		
	体育教員	堂 園	一 一		
	学生課長	浦 口	健 一		
沖縄工業高等専門学校	学生主事	神 里	志 穂		
	体育教員	和 多	野 子		
	学生課長	藤 元	高 徳		

令和4年度 九州沖縄地区高専体育大会日程予定表

○: 競技実施日

△: 開会式のみ

担当校	種 目	会 場	6月		7月																
			29 水	30 木	1 金	2 土	3 日	8 金	9 土	10 日	11 月	12 火	15 金	16 土	17 日	18 月	22 金	23 土	24 日	25 月	
熊本高等専門学校 (八代キャンパス)	陸上競技	えがお健康スタジアム陸上競技場 (熊本県民総合運動公園陸上競技場)				○	○														
	ソフトテニス	パークドーム熊本 (熊本県民総合運動公園屋内運動広場)								○	○										
	バドミントン (男・女)	八代トヨオカ地建アリーナ (八代市総合体育館)			○	○	○														
	水泳	アクアドームくまもと (熊本市総合屋内プール)				○															
	ハンドボール	熊本県立総合体育館	△	○	○																
都城工業高等専門学校	硬式野球	(第1会場) 都城市営球場 (第2会場) 高城運動公園野球場																○	○	○	予備
	バスケットボール (男・女)	高城運動公園総合体育館 山之口運動公園体育館			△	○	○														
	卓球	高城運動公園総合体育館								○	○										
	剣道	三股町武道体育館									○										
鹿児島工業高等専門学校	サッカー	ビーラインスポーツパーク始良陸上競技場・ 人工芝グラウンド												○	○	○	予備				
	柔道	霧島市 国分武道館				○	○														
	バレーボール (男・女)	みやまの森運動公園牧園アリーナ												○	○						
	テニス	パークドーム熊本 (熊本県民総合運動公園)										○	○								

担当校	種 目	会 場	11月			
			12 土	13 日	14 月	15 火
熊本高等専門学校 (八代キャンパス)	ラグビーフットボール	県営八代運動公園	○	○		○

第59回（令和4年度） 九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会要項

- 1 参加校 別紙参照
- 2 主催 (主管校) 熊本高等専門学校（八代キャンパス）
(担当校) 都城工業高等専門学校
(担当校) 鹿児島工業高等専門学校
九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟
- 3 期間 令和4年 6月30日（木）、7月1日（金）・2日（土）・3日（日）、
7月9日（土）・10日（日）・11日（月）・12日（火）、
7月15日（金）・16日（土）・17日（日）、
7月22日（金）・23日（土）・24日（日）
令和4年 11月12日（土）・13日（日）・15日（火）
- 4 競技種目・競技会場及び試合開始時刻 競技種目別実施要項参照
- 5 開会式及び閉会式

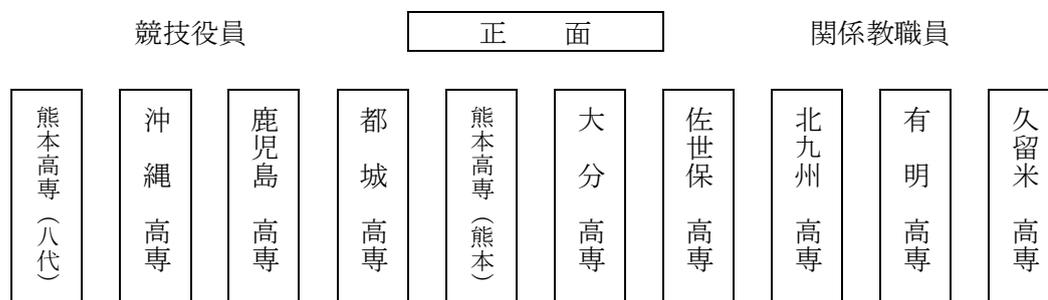
ア 開会式

- 1 役員選手集合
- 2 開式
- 3 開会宣言
- 4 国旗掲揚
- 5 大会旗掲揚
- 6 優勝杯返還及びレプリカ授与
- 7 大会会長挨拶
- 8 審判長注意
- 9 選手宣誓
- 10 閉式

イ 閉会式

- 1 役員選手集合
- 2 開式
- 3 成績発表
- 4 表彰
- 5 審判長講評
- 6 大会会長挨拶
- 7 国旗、大会旗降納
- 8 閉会宣言
- 9 閉式

ウ 開会式及び閉会式配列図



- (注) 1 正面に向かって、右側から構成校順に整列する。
ただし、担当校は左端に整列する。
- 2 各会場とも開会式は、予定時刻30分前に指定された場所に集合すること。
- 3 選手団の服装は、各高専で定められたものを着用する。
- 4 開会式及び閉会式の式次第は総合的なものを想定しており、各競技の実態に合わせて変更可能とする。

- 6 参加資格 九州沖縄地区国立高等専門学校に在学する学生とする。
- 7 競技方法 競技種目別実施要項による。
- 8 表彰
(1) 学校対抗（団体の部）の優勝校に優勝杯を、準優勝校に準優勝杯を授与し、1～3位入賞校に賞状を授与する。
(2) 優勝杯及び準優勝杯は、それぞれ持廻りとする。
(3) 前回優勝校にレプリカを授与する。
(4) 個人対抗（個人の部）の各種目の1～3位入賞者に賞状を授与する。
- 9 選手の変更
参加申込後の変更は、原則として認めない。
ただし、やむを得ない選手の変更については、監督会議において承認を得るものとする。
- 10 監督会議
競技種目別に定められた日時及び場所で行う。
出席者は、監督及び学生代表を原則とし、詳細は競技ごとに定める。
11. 全国大会出場資格
本大会において、次に該当するものは第57回全国大会の出場権を得るものとする。
(1) 陸上競技及び水泳における各種目別上位男子3位、女子2位までの入賞者。
ただし、リレーは上位入賞2チームとする。
(2) 陸上競技のこの大会における男子3位、女子2位までの入賞者は、全国高等専門学校体育大会への出場権を得ることになる。男子リレー種目は、2位までの入賞チーム、有効期間内における公認記録の全国上位8チームとする。男子は1人2種目以内（リレー種目は除く）、開催校（又は開催地区）出場枠は各種目1名（1チーム）とする。女子は（3）の種目を除き2種目以内とする。
(3) 下記の種目は標準記録を設け下記のような選出方法を行う。
・男子 400mH：59秒00、3000mSC：10分30秒00、棒高跳：3m50
・女子 200m：28秒60、3000m：12分00秒00、100mH：17秒90、4×100mR：56秒00、走高跳：1m40、円盤投：23m00、やり投：25m00
・男子 400mH は有効期間内の公認記録上位24名以内、3000mSCと棒高跳は16名以内とする。
・女子 200m、3000m、100mH、走高跳、円盤投及びやり投は有効期間内の公認記録上位16名以内とする。
(4) 陸上競技における公認記録の有効期間について、男子リレー種目は令和4年4月1日から令和4年7月18日までとし、これ以外の種目については令和3年4月1日から令和4年7月18日までとする。
(5) バスケットボール（男）、バスケットボール（女）、バレーボール（女）、ソフトテニス、卓球（女）、剣道（女）、硬式野球については、それぞれの優勝チームのみとする。
(6) バレーボール（男）、卓球（男）、柔道、剣道（男）、サッカー、ハンドボール、ラグビーフットボール、テニス、バドミントン（男）、バドミントン（女）については、上位入賞2チームとする。ただし、ラグビー部合同チームの参加について、全国大会への出場権は認めない。

- (7) ソフトテニスにおける個人戦は、上位入賞者男子ダブルス3組、女子ダブルス2組とする。
- (8) 卓球における個人戦は、上位入賞者男子シングルス2名、女子シングルス上位2名以内、男子ダブルス2組、女子ダブルス2組以内とする。
- (9) 柔道における個人戦は、級別上位入賞者男子2名、女子3名以内とする。
- (10) 剣道における個人戦は、上位入賞者男子4名以内、女子3名以内とする。
- (11) テニスにおける個人戦は、上位入賞者男子シングルス2名、女子シングルス2名、男子ダブルス2組、女子ダブルス2組とする。
- (12) バドミントンにおける個人戦は、上位入賞者男子シングルス2名、女子シングルス2名、男子ダブルス2組、女子ダブルス2組とする。
- (13) 開催校枠を保持している全国開催校のチーム・選手が上記規程の順位内に入った場合、バスケットボール（女）、バレーボール（女）、バドミントン（女団体戦）を除いた競技については、上記規定の順位の1つ下の順位に入ったチーム・選手（複数該当する場合はその中から代表決定戦により選出されたチーム・選手）も、全国大会への出場権を得るものとする。
- (14) 地区代表として1名も選抜されなかった学校は、その学校の最も優れた選手を開催種目の個人競技種目（リレー種目を除く。）のいずれか1種目に、1名又は、1組を出場させることができる。

12. その他

- (1) 担当校は、大会の運営について競技上の事故防止等に十分配慮すること。
- (2) 担当校は、気象警報発令時及び災害発生時においては、競技参加者及び大会関係者の安全を第一として競技実施の有無その他対応について判断し、決定した内容について速やかに参加校ほか関係機関に連絡することとする。各参加校においても、学校内の連絡先を点検し、連絡体制を確立しておくこととする。
- (3) 競技中の負傷については、各担当会場校で応急処置を施すが、その後の処置は参加校で行うものとする。
- (4) 選手は、健康保険証を必ず持参すること。
- (5) 高専学生として品位と節度のある応援を行うこと。
- (6) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、各競技で定める「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を遵守すること。
なお、各競技団体におけるガイドラインの更新や各地域の感染状況を踏まえ、ガイドラインを修正する場合がある。
最新のガイドラインは、各競技担当校から参加高専に通知するものとする。

参 加 校

学 校 名	住 所 ・ 電 話 番 号
久留米工業高等専門学校	久留米市小森野1-1-1 TEL 0942-35-9317
有明工業高等専門学校	大牟田市東萩尾町150 TEL 0944-53-8861
北九州工業高等専門学校	北九州市小倉南区志井5丁目20-1 TEL 093-964-7233
佐世保工業高等専門学校	佐世保市沖新町1-1 TEL 0956-34-8420
熊本高等専門学校（熊本キャンパス）	合志市須屋2659-2 TEL 096-242-6229
熊本高等専門学校（八代キャンパス）	八代市平山新町2627 TEL 0965-53-1233
大分工業高等専門学校	大分市大字牧1666 TEL 097-552-6365
都城工業高等専門学校	都城市吉尾町473-1 TEL 0986-47-1135
鹿児島工業高等専門学校	霧島市隼人町真孝1460-1 TEL 0995-42-9015
沖縄工業高等専門学校	名護市字辺野古905 TEL 0980-55-4032

大会参加者数

(担当校) 鹿児島工業高等専門学校

学 校 名	教職員	監督	コーチ	マネージャー	選手	その他	計
久留米工業高等専門学校	0 (0)	4 (0)	4 (0)	8 (8)	55 (14)	5 (0)	76 (22)
有明工業高等専門学校	0 (0)	4 (0)	4 (0)	8 (8)	66 (18)	4 (0)	86 (26)
北九州工業高等専門学校	0 (0)	5 (0)	3 (0)	4 (4)	64 (16)	5 (0)	81 (20)
佐世保工業高等専門学校	1 (0)	4 (0)	3 (1)	4 (4)	62 (16)	8 (3)	82 (24)
熊本高等専門学校 (熊本キャンパス)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	6 (5)	29 (2)	10 (0)	48 (7)
熊本高等専門学校 (八代キャンパス)	1 (0)	5 (1)	2 (0)	5 (3)	51 (9)	9 (0)	73 (13)
大分工業高等専門学校	1 (0)	5 (0)	5 (0)	7 (5)	73 (18)	4 (0)	95 (23)
都城工業高等専門学校	2 (0)	5 (0)	4 (0)	9 (9)	56 (14)	12 (2)	88 (25)
鹿児島工業高等専門学校	37 (6)	4 (0)	4 (0)	11 (11)	53 (0)	76 (0)	185 (17)
沖縄工業高等専門学校	1 (0)	3 (0)	2 (0)	3 (3)	30 (0)	0 (0)	39 (3)
計	44 (6)	41 (1)	31 (1)	65 (61)	539 (107)	133 (5)	853 (180)

(注) 女子は内数として () 内に記入

柔道競技実施要項

1. 主催 鹿児島工業高等専門学校
九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟
2. 主管 九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟柔道競技専門部
3. 後援 霧島市、霧島市教育委員会
4. 大会期日 令和4年7月2日（土）・・・団体試合
3日（日）・・・個人試合
5. 大会会場 霧島市 国分武道館
6. チーム人員 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手7名以内、計10名以内とする。
ただし、個人試合においては、前記以外の選手を出場させることができる。
7. 競技規定
 - (1) 「国際柔道連盟試合審判規定」による。
 - (2) 「優勢勝ち」の判定基準について
 - ア 団体試合の判定基準は、「技有」又は「僅差」以上とする。なお、「僅差」は指導差2とする。
チームの内容が同等の場合は代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。代表戦における判定基準は「技有」又は「僅差」以上とし、その延長戦の判定基準は、個人試合に準ずる。
団体戦の代表戦以外の試合において、「同時一本」の場合は「引分」とし、「両者反則負」の場合は両者負けとする。
 - イ 個人試合の判定基準は、「技有」又は「僅差」以上とする。なお、「僅差」は指導差2とする。
技による評価が同等の場合は、延長戦（ゴールデンスコア）において勝敗を決する。
延長戦による判定基準は「技有」以上の得点、又は「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。
個人戦又は団体戦の代表戦において、「同時一本」もしくは累積による「両者反則負」の場合は、スコアをリセットし、延長戦（ゴールデンスコア）において勝敗を決する。また、延長戦において指導の累積により「両者反則負」となった場合には、スコアをリセットし、再度延長戦（ゴールデンスコア）を行い必ず勝敗を決する。
 - (3) 関節技において、その効果があると認めるとき、審判員の見込みによって「一本」の判定を下すことができる。但し、絞技においては、見込みによる判定を行わない。
 - (4) 試合時間は、団体試合、個人試合とも4分とする。
8. 競技方法
 - (1) 団体試合
 - ア 団体試合の組合せは、監督会議で抽選を行う。
 - イ 参加チームが6校以上の場合、参加チームを3ブロックに分け、予選リーグを行い、各1位の3チームにより決勝リーグを行う。
 - ウ 前々年度の決勝リーグ戦の成績によって、第1位チームをAブロック、第2位チームをBブロック、3位チームをCブロックにシードする。参加チームが9チームに満たない場合、満たないチーム数をAブロック、Bブロック、Cブロックの中で1チームずつ減ずる。
 - エ 決勝は各ブロックの1位によるリーグ戦で行う。（組み合わせは抽選による。）
 - オ 試合は各チーム5名の点取り試合方式で行い、試合ごとのオーダー変更を認める。
 - カ リーグ戦の順位の決定は次による。

(ア) リーグ戦におけるチーム対チームの勝敗は次による。

- ① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- ② ①で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- ③ ②で同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- ④ ③で同数の場合は、「僅差」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- ⑤ ④で同等の場合は、引き分けとする。

(イ) リーグ戦の順位は、2勝・1勝1分・1勝1敗・2分・1分1敗・2敗の順とする。

(ウ) (イ)で同等の場合は、リーグ戦を通じ勝ち数の多いチームを上位とする。

(エ) (ウ)で勝ち数の同じ場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを上位とする。

(オ) (エ)で同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを上位とする。

(カ) (オ)で同数の場合は、「僅差」による勝ち数の多いチームを上位とする。

(キ) (カ)で同等の場合は、負け数の少ないチームを上位とする。

(ク) (キ)で同等の場合は、「一本」による負け数の少ないチームを上位とする。

(ケ) (ク)で同等の場合は、「技有」による負け数の少ないチームを上位とする。

(コ) (ケ)で同数の場合は、「僅差」による負け数の少ないチームを上位とする。

(サ) (コ)で同等の場合は、代表戦を行う。

キ 参加チームが5チーム以下の場合、全参加チームの総当たり戦を行い、順位を決める。この場合の順位は、カに準ずる。例えば、参加チームが5チームの場合の組合せは次のようにする。ただし、試合間に10分間の休憩を入れる。

第Ⅰ試合場	第Ⅱ試合場
1－2	3－4
5－1	2－3
4－5	1－3
2－4	3－5
1－4	2－5

(2) 個人試合

ア 【男子】

(ア) 出場選手は、66kg級、73kg級、81kg級、無差別級ともに各校2名以内とする。

(イ) 各級別にトーナメント戦とし、代表者決定戦も行う。

(ウ) 個人試合の組合せは、監督会議で抽選を行う。

(エ) 個人試合は、シード制を設ける。

① シードされるのは、前々年度1位から3位の4人とする。

② シード権があっても、階級を変えるとシード権は消える。

(オ) 計量は、団体戦終了後に会場において厳正に行う。(計量の開始時刻は、監督会議において決定する。)

定められた時間内に計量を受けなかった者及び規定の計量に合格しなかった者は失格とする。

イ 【女子】

(ア) 出場選手は、48kg級、52kg級、57kg級、無差別級ともに各校2名以内とする。

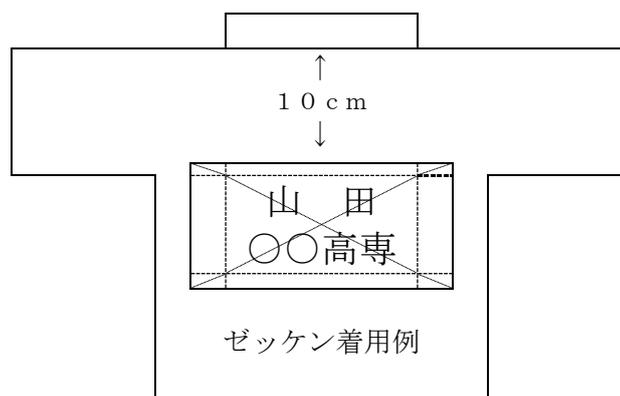
以下(イ)～(オ)については男子に同じ

9. 注意事項・その他

(1) 競技が天候不調により中止になった場合の全国大会出場者の選出は、団体戦、個人戦、それぞれ出場する意思をメール等で確認し、その中から担当校が抽選により決める。抽選の様子はテレビ会議で放映する。

(2) 団体試合におけるオーダー用紙の提出は、各試合とも開始15分前とする。オーダーは登録選手7名の枠内において各試合ごとに組替えてよい。ただし、定められた時刻までにオーダーの提出がなかった場合は、前試合と同じオーダーでもって試合を行わなければならない。また、連続して試合に出場する場合に限り、前試合終了後直ちに提出すればよいことにする。

- (3) エントリー変更は、不慮の事故、負傷のために出場できなくなった場合に、監督会議に申し出て承認を得るものとする。また、入学試験、就職試験、インターンシップ等の学生の不可抗力により出場できなくなった場合については、監督会議開催日の1週間前までに当番校に申し出を行うとともに、監督会議にて承認を得るものとする。なお、エントリーの変更にあたっては、医師又は学校長の証明を添付のうえ申し出を行うものとし、監督会議にて審議を行う。
- (4) 柔道衣の検査を試合前に行う。違反者は着替えることとする。
- (5) 選手は、上衣の左胸部にハガキ大(10×15cm)の校名、背部に全日本柔道連盟規定のゼッケン(縦25cm、横32cmの白布地に姓・校名を横書きしたもの)をつける。



- (6) 全日本柔道連盟登録記録コピーを持参する。
- (7) 試合中の負傷については、大会本部で応急処置を施すが、その後の処置は当該校で行うこと。但し、脳振盪・皮膚真菌症(トングランズ)に関しては次のとおりとする。

<脳振盪における扱い>

- ア 大会1ヶ月前に脳振盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
- イ 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急専門医(脳神経外科)の精査を受けること)
- ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- エ 当該選手の指導者は、大会事務局(公財)全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

<皮膚真菌症(トングランズ)における扱い>

皮膚真菌症(トングランズ感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関に於いて、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。疑わしい場合には大会長に申告の上、指示を仰ぐこととする。

- (8) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的には利用しない。
- (9) 別紙「第59回(令和4年度)九州沖縄地区高専体育大会柔道競技における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を遵守すること。
また、大会会場の新型コロナウイルス感染拡大防止対策方針に従い、感染拡大防止に最善を尽くすこと。

第 59 回（令和 4 年度）九州沖縄地区高専体育大会柔道競技における 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

1. はじめに

本ガイドラインは、鹿児島県高等学校体育連盟柔道専門部が策定したガイドラインに基づき、新型コロナウイルス感染症への対応として作成したものです。本ガイドラインの内容は、今後の国や全柔連、県柔連などからの指針や通知、各地域の感染状況、大会運営上の都合により見直すことがあり得ることにご留意ください。

2. 運営側の感染予防対策

- ① 大会中は選手数、審判、役員、係員、観客等の密集を避け、必要に応じて注意喚起を行う。会場の消毒、清掃などについては主催者が事前に方針を決定する。
- ② 選手・役員・係員・審判員などすべての参加予定者に事前に健康記録表を渡し、当日入場時に過去 2 週間前からの健康記録をチェックする。当日参加の観客・応援者などには当日配布しチェックした後に入場を許可する。体温計を準備する。チェックした健康記録表は主催者が責任を持って個人情報漏洩しないように注意し、厳重に保管する。また、大会翌日から 2 週間健康記録をチェックする。保管時期は概ね 1 ヶ月とし、保管時期終了後は確実に破棄する。
- ③ 健康記録表の提出がない者の入場を許可しない。参加者の健康記録表に異常（発熱や有症状）がある場合や以下の場合には参加者の入場を断る。
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ④ マスクの着用、手洗い、共同施設の使用方法など感染予防措置や注意事項について事前に決定し、参加者にも感染予防措置を周知する。

3. 参加学生の感染予防対策

- ① 選手は試合場に到着時に受付で 2 週間前からの健康記録表を大会委員長に提出する。
- ② 大会当日、会場でも体温チェックを行う。
- ③ 健康記録表を持参しない選手、健康記録表で発熱（37 度以上）や症状を有する選手は試合に参加させない。他の参加者と同じ扱いで参加の有無を判断する。
- ④ アップ、試合時以外はマスクを着用する。
- ⑤ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を心がける。

4. 監督・コーチ・大会役員の感染予防対策

- ① 選手と同様に健康記録表を提出する。
- ② 大会当日、会場でも体温チェックを行う。
- ③ 大会中は、マスクを着用する。

5. 審判員及び係員の感染予防対策

- ① 基本的に審判員のマスク着用は不必要であるが、マスクは持参していただく。
- ② 試合場に上がらない審判委員、副審、係員はマスクを着用していただく。
- ③ 試審判同士や選手とは、十分な距離を空けるが、技の判定（特に締技）の判断には近接での判断が必要な場合もあるので臨機応変に対応する。

- ④ 監督や選手、コーチが試合場で大声を出し応援や指示をする場合には、厳しくコントロールする。大会主催者は会場放送等で選手間の距離も近接している場合には注意をする。
- ⑤ 大会主催者は会場放送等で試合場周囲の観客席からの大声の応援や身体間距離を取らない応援を注意する。
- ⑥ 選手・監督・コーチ・役員や観客・応援者などすべての参加者に、感染予防措置を守らない場合には途中退場があることを、主催者から通達しておく。
- ⑦ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。アルコール消毒は主催者が準備しておく。
- ⑧ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。
- ⑨ 出血や汚物などで汚れた会場は、審判員の指示で主催者・係員が必要に応じて清掃・消毒を行う。
- ⑩ 飲食は指定場所以外では行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話も控えめにする。

6. 観客の感染予防対策

無観客とするか、数を制限して観客を許可するかは、主催者が十分に検討して判断する。観客を入れる場合もこれまで述べた感染予防措置は順守させる。

- ① 会場は観客席の広さや配置から最大許可人数を決め、その人数制限を守る方法を事前に検討する。
- ② 入場時に健康記録表をチェックし回収する。個人情報取得の必要性（クラスター発生時の追跡と連絡）と保管時期、取り扱いについて説明し同意を得る。
- ③ 選手や役員、審判員と同じ基準で有熱者や有症状者は入場を断る。
- ④ 客席の観客間は1～2m 距離を取る。
- ⑤ マスクを着用する。入口には消毒設備を設置しておく。
- ⑥ 密集する応援や大声での応援は禁じる。注意を守らない観客には退場を宣告する。
- ⑦ 共用施設（トイレなど）の使用については注意点を掲示する。

7. 大会参加申し込みについて

- ① 顧問は必ず、選手及び保護者から大会参加の同意書を取り、校長責任のもと申し込みを行う。同意書は各学校で保管する。
- ② 大会参加を強要することがないよう配慮する。

組合せ及び予定時刻

(1) 団体試合の部
7月2日(土)

・団体試合の部 記録表

	1	2	3	4	5	勝率			勝利内容				順位	
						勝	負	分	一本	技有	有効	僅差		
1	/													
2		/												
3			/											
4				/										
5					/									

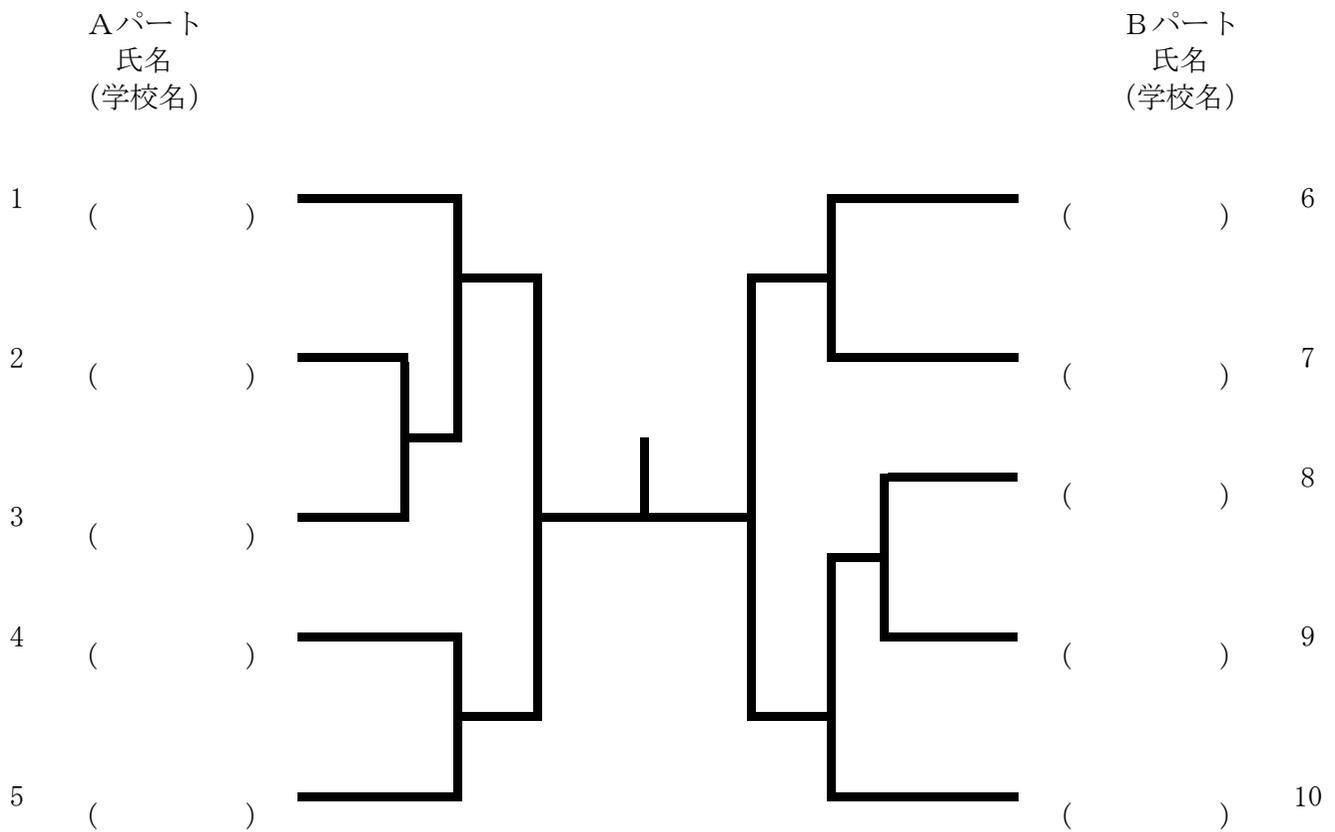
・試合順

	第一試合場			第二試合場		
第一試合 10:00開始	1	—	2	3	—	4
第二試合 10:35開始	5	—	1	2	—	3
第三試合 11:10開始	4	—	5	1	—	3
第四試合 11:45開始	2	—	4	3	—	5
第五試合 12:20開始	1	—	4	2	—	5

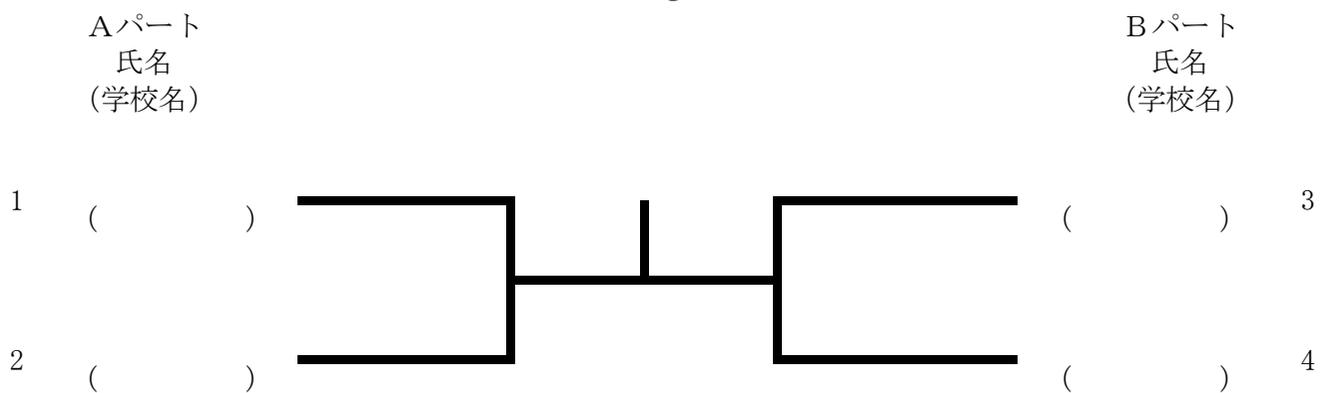
(2) 個人戦の部

7月3日(日)

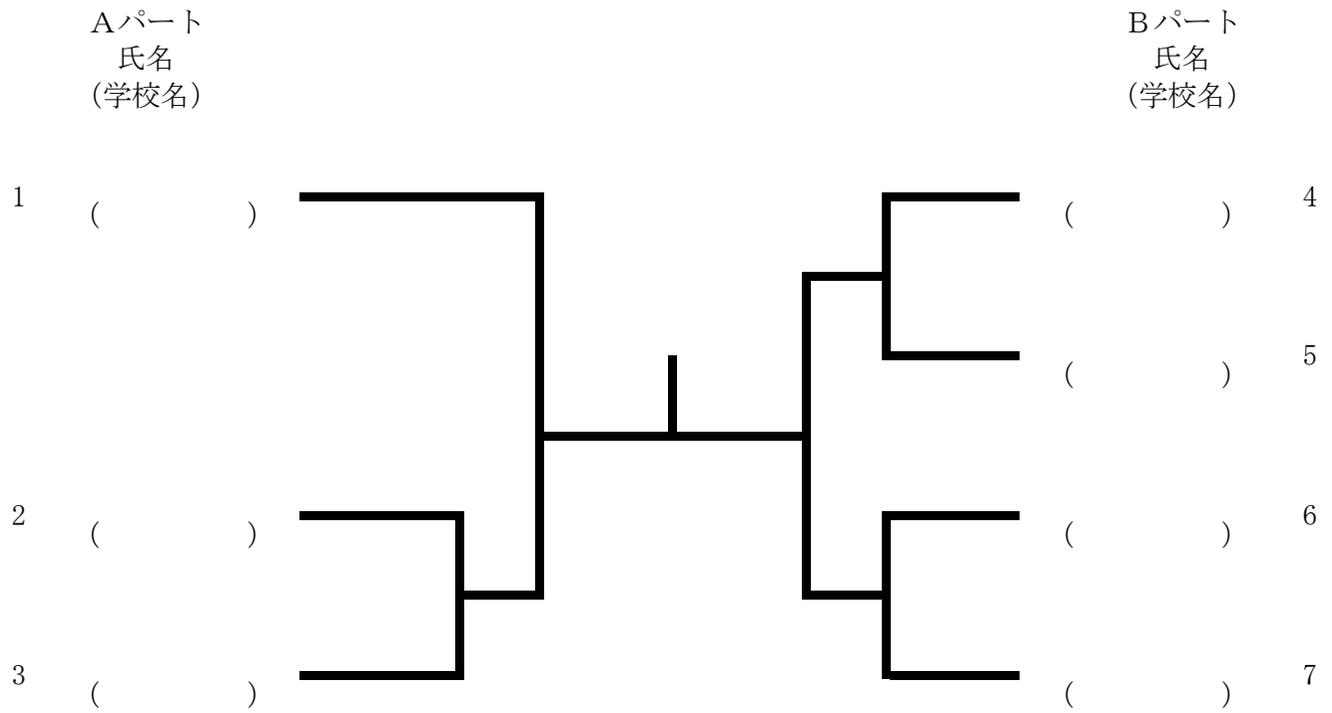
○66kg級



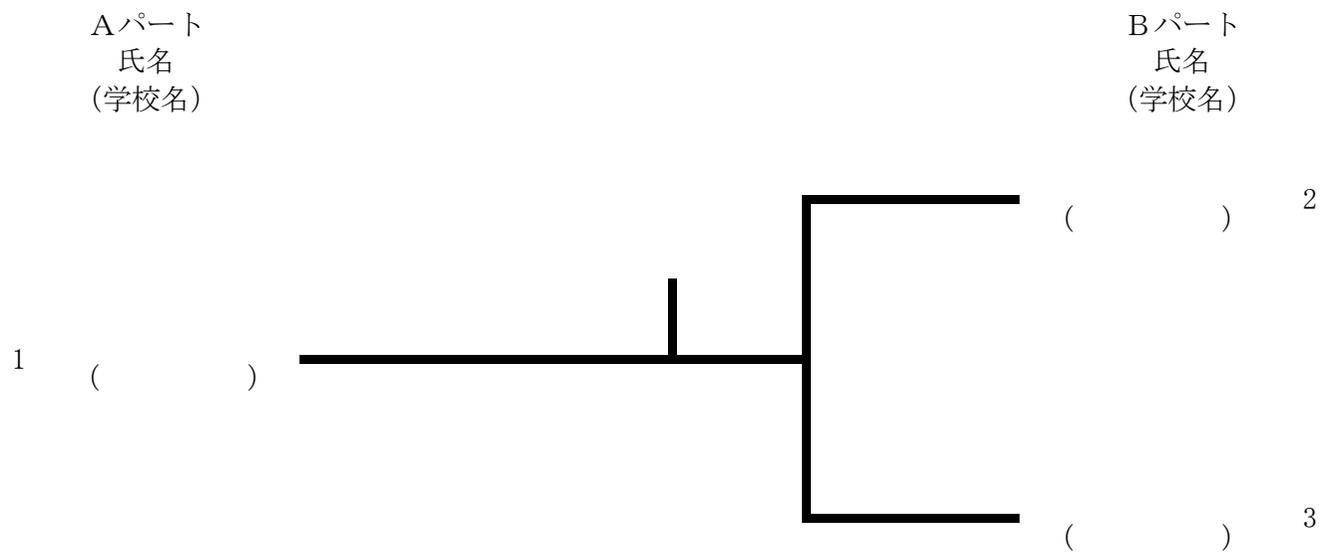
○73kg級



○81kg級



○無差別級



(注) 組合せについては監督者会議で決定する。

競 技 役 員

審 判 長	審 判 員
小林 義弘	西園 和昭、麓 光樹、大園 裕介、原口 勝広、羽嶋 誠一郎 小牧 大輔、上村 脩、山下 壽也、本村 大志、榎谷 浩喜 有川 亮、児玉 拓也、遠矢 大将、村永 圭介

出 場 選 手 名

学 校	メ ン バ ー										
	監 督	コ ー チ	マ ネ ー ジ ャ ー	主 将	2	3	4	5	6	7	
北九州高専	学 年				5	2	1	1			
	段 位				初	初	無	無			
	身 長				171	163	168	164			
	体 重				81	66	66	77			
	氏 名	桐本 賢太	青松 相道		松本 太陽	小山 哲太	麻生 瑛介	石黒 創一			
熊本高専(八代)	学 年			3	3	3	1				
	段 位				無	無	初				
	身 長			171	175	169	166				
	体 重			64	81	76	66				
	氏 名	田中 裕一	濱崎 一三	岩井 洲俐也	古閑 柊平	太鼓 悠介	伊佐 魁馬				
大分高専	学 年			2	5	5	4	4	2	2	1
	段 位				弐	弐	初	初	初	弐	無
	身 長				180	170	175	165	170	165	170
	体 重				93	73	78	60	80	56	60
	氏 名	川内谷 一志	藤本 拓也	軸丸 葵	山野 雄貴	平山 創大	栗本 晃希	西浦 陸斗	山口 龍斉	廣瀬 優唯斗	玉田 章人

学 校	メ ン バ ー										
	監 督	コ ー チ	マ ネ ー ジ ャ ー	主 将	2	3	4	5	6	7	
都城高専	学 年			3	5	2	3	3			
	段 位				弐	初	初	無			
	身 長				177	168	161	175			
	体 重				81	66	52	70			
	氏 名	野地 英樹	下野 勉	村尾 曹来	村永 祐晟	尾瀨 蓮太朗	目良 誠也	山路 大成			
鹿児島高専	学 年				5	5	4	2	2	1	1
	段 位				初	初	初	初	初	初	初
	身 長				167	173	167	183	169	159	172
	体 重				73	64	93	73	66	57	81
	氏 名	野澤 宏大	内村 秀樹		川畑 賢志郎	内園 翔太	須田 光揮	藺田 清ノ介	内園 春輝	井之上 賢成	尾辻 朱蓮

個人戦【男子】

学校	選手名	学年	段位	身長	体重	学校	選手名	学年	段位	身長	体重		
北九州高専	66kg級	小山 哲太	2	初	163	大分高専	66kg級	西浦 陸斗	4	初	165	60	
		麻生 瑛介	1	無	168			66	廣瀬優 唯斗	2	弐	165	56
	73kg級						73kg級	平山 創大	5	弐	170	73	
								高津 駿斗	2	無	178	73	
	81kg級	松本 太陽	5	初	171		81	81kg級	栗本 晃希	4	初	175	78
									山口 龍斉	2	初	170	80
	無差別級							無差別級	山野 雄貴	5	弐	180	93
									吉川 大我	1	無	170	90
有明高専	66kg級	田上 侑	1	初	171	65	都城高専	66kg級	尾瀨 蓮太郎	2	初	169	66
									目良 誠也	3	初	161	52
	73kg級							73kg級					
	81kg級							81kg級	村永 祐晟	5	弐	175	81
	無差別級	竹森 洸太	4	初	172	95		無差別級					
熊本高専(八代)	66kg級	伊佐 魁馬	1	初	166	66	鹿児島高専	66kg級	内園 春輝	2	初	169	66
									井之上 賢成	1	初	159	57
	73kg級							73kg級	川畑 賢志郎	5	初	167	73
									藺田 清ノ介	2	初	183	73
	81kg級	古閑 柊平	3	無	175	81		81kg級	尾辻 朱蓮	1	初	172	81
		太鼓 悠介	3	無	169	76							
	無差別級							無差別級					

● 鹿 児 島 会 場

1 監督会議日時及び会場

種 目	日 時	会 場
サ ッ カ ー	7月15日(金) 12:00	ビーラインスポーツパーク始良 体育館会議室
柔 道	7月 1日(金) 16:00	国分武道館 会議室
バレーボール(男子・女子)	7月15日(金) 16:10	牧園アリーナ 会議室
テ ニ ス	7月11日(月) 9:30	熊本県民総合運動公園パークドーム熊本会議室

2 開会式日時及び会場

種 目	日 時	会 場
サ ッ カ ー	7月15日(金) 13:30	ビーラインスポーツパーク始良 陸上競技場
柔 道	7月 2日(土) 9:30	国分武道館
バレーボール(男子・女子)	実施しない	
テ ニ ス	7月11日(月) 10:10	熊本県民総合運動公園パークドーム熊本

3 緊急病院

種 目	病 院 名	住所・電話番号
サ ッ カ ー	青雲会病院	〒899-5431 鹿児島県始良市西餅田 3011 番地 電話 0995-66-3080
柔 道	国分生協病院	〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央 3 丁目 38-14 電話 0995-45-4806
バレーボール(男子・女子)	霧島市立医師会 医療センター	〒899-5112 鹿児島県霧島市隼人町松永 3320 番地 電話 0995-42-1171
テ ニ ス	熊本赤十字病院	〒861-8520 熊本市東区長嶺南 2 丁目 1 番 1 号 電話 096-384-2111

九州沖縄地区体育大会優勝校一覧

競技種目（柔 道）

大会	年度	優勝校	大会	年度	優勝校
第1回	昭和39年度	—	第28回	平成3年度	八代
第2回	昭和40年度	佐世保	第29回	平成4年度	八代
第3回	昭和41年度	大分	第30回	平成5年度	八代
第4回	昭和42年度	鹿児島	第31回	平成6年度	熊本電波
第5回	昭和43年度	鹿児島	第32回	平成7年度	熊本電波
第6回	昭和44年度	鹿児島	第33回	平成8年度	熊本電波
第7回	昭和45年度	鹿児島	第34回	平成9年度	熊本電波
第8回	昭和46年度	有明	第35回	平成10年度	熊本電波
第9回	昭和47年度	佐世保	第36回	平成11年度	大分
第10回	昭和48年度	有明	第37回	平成12年度	大分
第11回	昭和49年度	久留米	第38回	平成13年度	大分
第12回	昭和50年度	久留米	第39回	平成14年度	八代
		都城	第40回	平成15年度	北九州
第13回	昭和51年度	久留米	第41回	平成16年度	佐世保
		都城	第42回	平成17年度	佐世保
第14回	昭和52年度	北九州	第43回	平成18年度	佐世保
		熊本電波	第44回	平成19年度	北九州
第15回	昭和53年度	北九州	第45回	平成20年度	大分
		熊本電波	第46回	平成21年度	大分
第16回	昭和54年度	有明	第47回	平成22年度	都城
		熊本電波	第48回	平成23年度	都城
第17回	昭和55年度	鹿児島	第49回	平成24年度	都城
第18回	昭和56年度	北九州	第50回	平成25年度	有明
第19回	昭和57年度	北九州	第51回	平成26年度	有明
第20回	昭和58年度	大分	第52回	平成27年度	有明
第21回	昭和59年度	大分	第53回	平成28年度	熊本（八代）
第22回	昭和60年度	大分	第54回	平成29年度	有明
第23回	昭和61年度	鹿児島	第55回	平成30年度	熊本（八代）
第24回	昭和62年度	都城	第56回	令和元年度	都城
第25回	昭和63年度	佐世保	第57回	令和2年度	中止
第26回	平成元年度	八代	第58回	令和3年度	中止
第27回	平成2年度	八代	第59回	令和4年度	

